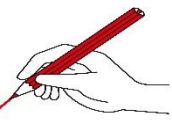


# Move Mountains

5年生通信

11月15日76号



○三分間のスピーチなら、すくなくとも一晩は準備にかかる

アメリカ歴代大統領で、スピーチが上手だったと話題なのは、第28代大統領のT.W. ウィルソン。

このように言いました。

二時間の講演ならいますぐにでも始められるが、

三〇分の話だとそうはいかない二時間くらい用意の時間がほしい。

**三分間のスピーチなら、すくなくとも一晩は準備にかかる**

つまり、長くダラダラと喋る方が簡単で、**短くまとめるのは難しい**ということです。2時間も話を聞いてもらえる機会なんて、よっぽどありません。

文章でも同じです。短くまとめる力が非常に重要です。

新たなプロジェクトでは、宮沢賢治の作品を読み深めています。

その一環として、宮沢賢治の生涯について調べ、まとめました。まとめる方法は「はがき新聞」と呼ばれるもの。つまり、はがき程度の大きさの紙に新聞形式でまとめます。

毎日、振り返りを書いています。国語の内容が出てきた時にはガッツポーズです。体育や図工、実験のある理科などにはなかなか勝てませんから。

はがき新聞を作成した日の振り返り。一部です。

- ・今日は、宮沢賢治のことについて知りました。病に何回もおそわれて私は、正直ずっと「死ぬなよ、死ぬなよ」と思っていました。
- ・国語で宮沢賢治についてまとめた。短いとめっちゃ要約しないといけなかったからむずかしかった。
- ・はがき新聞で、最初はむずかしいと思ったけど、2時間で完成したのでよかったです。大変でした。
- ・宮沢賢治のことを小さい新聞にまとめた。短い時間だったけど、けっこう色もつけることができたし、内容も自分にしてはいい感じにできた。

情報を集めてまとめるところまで2時間でしたが、ここまでできました。



最後にもう一つ振り返りを紹介します。

・国語の時間で、二時間で宮沢賢治の話を一枚のはがきにまとめる授業。どうやってまとめようかなと頭がよく回転して、ギリギリ2時間で完成できた。

一定の制限と制約があることで、集中力を最大限に発揮して、力を出し切ることができたように思います。